

事業の中間ご報告

(2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日)



ミズナラの実 (どんぐり)



いちよし証券

証券コード: 8624

ごあいさつ



皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、台風・大雨・地震など昨今の度重なる自然災害により被災されました皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復興をお祈り申し上げます。

ここに第83期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日）における当社および当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期の日本の株式市場は、7月に日経平均株価が史上最高値を更新した一方で、8月には過去最大の下落幅を記録するなど、値動きの荒い展開となりました。

当社はかねてより、こうしたマーケット環境に左右されにくい安定的な収支構造の構築を目指しており、中期経営計画「3・D」におきましては、預り資産3兆円への拡大に取り組んでおります。

計画期間も折り返しを迎え、より一層全力を挙げて「3・D」の早期達成に向けて取り組み、預り資産の拡大を核とした持続的な成長の実現に努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表執行役社長

玉田 弘文

お客様のためにやらないこと



売れる商品でも、
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。
「いちよし基準」＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は取り扱いません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

選ばれ続ける証券会社へ。

 いちよし証券

私たちは、お断りする事があります。
「いちよし基準」＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は取り扱いません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

お客様のために為すべきこと



お客様独自のオーダーを
仕立てる信念。

私たちは、為すべき事があります。

- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
- お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
- 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

選ばれ続ける証券会社へ。

 いちよし証券

私たちは、為すべき事があります。

- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
- お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
- 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

第2四半期(中間期)連結決算のご報告および中間配当について

営業収益

97億25百万円
(前年同期比 106.1%)

経常利益

15億82百万円
(前年同期比 128.2%)

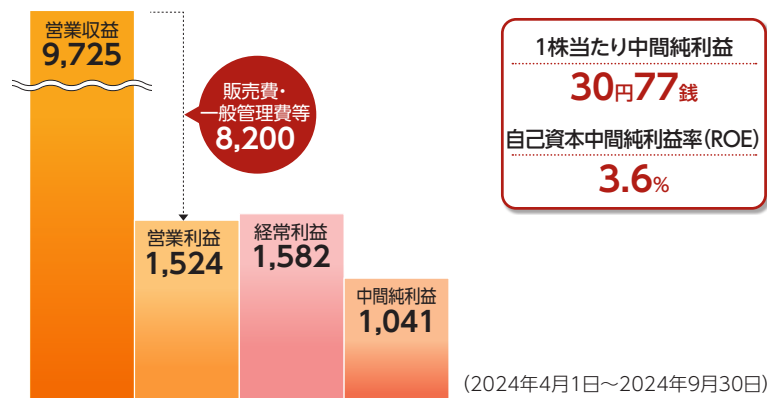
中間純利益

10億41百万円
(前年同期比 121.9%)

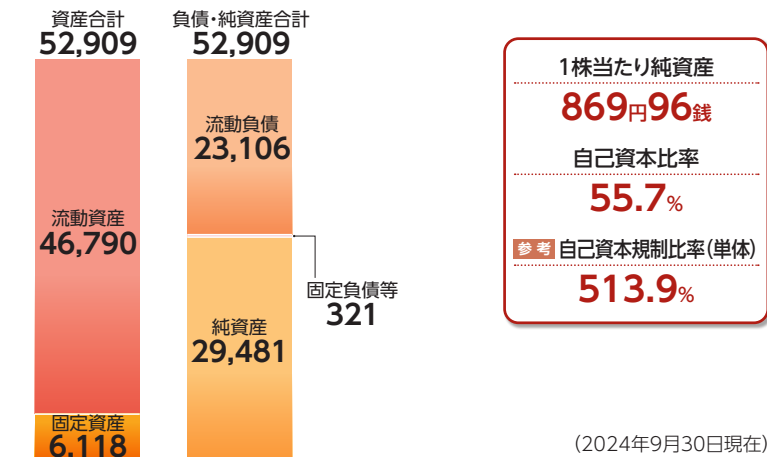
中間配当

1株当たり17円

■ 中間連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 中間連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 配当に関する基本方針

連結ベースでの配当性向(50%程度)と純資産配当率(DOE2%程度)を配当基準とし、半期毎に算出された金額について、いずれか高いものを採用して配当金を決定しております。

当中間期の剰余金の配当方針は連結純資産配当率を採用させていただきます。

お客様本位のアドバイス活動を実現するための「改革の断行」

「売れる商品でも、売らない信念」と「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」

当社は「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」を経営理念とし、創業以来、お客様との信頼関係を何より一番としたサービスのご提供を実践して参りました。そして2019年より、お客様本位の業務運営をさらに推進するための20年振りの「改革の断行」を進めております。「改革の断行」にあたり当社は、20年来掲げて参りました「仕組み債は取り扱わない」「個別外国株は勧誘しない」などの「お客様のためにならない商品は取り扱わない」という7つの原則「いちよし基準」にもとづく「売れる商品でも、売らない信念」に加えて、お客様のために為すべきこととして「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」を掲げ、お客様1人1人のニーズに即したオーダーメイドのポートフォリオ提案に取り組んでおります。

いちよしグループはこれからも、「売れる商品でも、売らない信念」と「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」のもと、お客様本位のアドバイス活動を実践し、中小型成長株に特化したいちよし経済研究所（IRI）のリサーチ力、いちよしアセットマネジメント（IAM）の運用力、当社のアドバイス力という、当社グループの強みを最大限に発揮し、対面アドバイスにこだわり抜いた「金融・証券界のブランド・ブティックハウス」の実現を目指して参ります。

■ お客様本位の様々な取組み

当期におきましても当社は、お客様本位の様々な取組みを行って参りました。

商品・サービスにおける取組みとして、ファンドラップ「ドリーム・コレクション（愛称：ドリコレ）」の積み立てに対応した自動増額サービス「ドリコレ・ミニ」をスタートするとともに、ドリコレおよびノーロード（購入時手数料無料）・実績報酬型アクティブ・ファンド「いちばん星」をNISA対象商品に追加いたしました。

また、本年6月より「いちばん星」に続くノーロード・実績報酬型アクティブ・ファンドの商品として、「いちよし・グローバル好配当戦略ファンド（愛称：ミズナラ）」の取扱いを開始いたしました。

手続き面では、本年1月より、オンラインによる口座開設に対応し、ペーパーレスでの口座開設申込みを開始しております。

当社は引き続き、お客様の利便性向上に向けた取組みを拡充して参ります。

中期経営計画「3・D」と預り資産の拡大に向けて

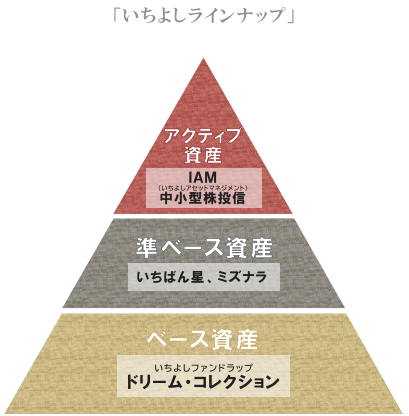
当社は20数年来、売買手数料中心の「フロー型ビジネスモデル」から、投資信託の信託報酬やラップフィーを中心としたお客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換を目指して参りました。

このビジネスモデルの転換をより一層加速させるべく、昨年4月より中期経営計画「3・D」をスタートし、預り資産3兆円への拡大を目指しております。

預り資産の柱となる投資信託につきましては、お客様の大切なご資産を中長期にわたりお預けいただける資産運用サービスとして、ドリコレを中心に組み立て、ドリコレにつきましては、当期末において24,653口座、2,998億円と順調に増加してきております。

■ 「3・D」の数値目標（計画期間:2023年4月～2026年3月末）

預り資産	コストカバー率	ROE
3兆円	70%	10%



■ 新サービス「ドリコレ・パス」・「いちよしトータルケア」スタート

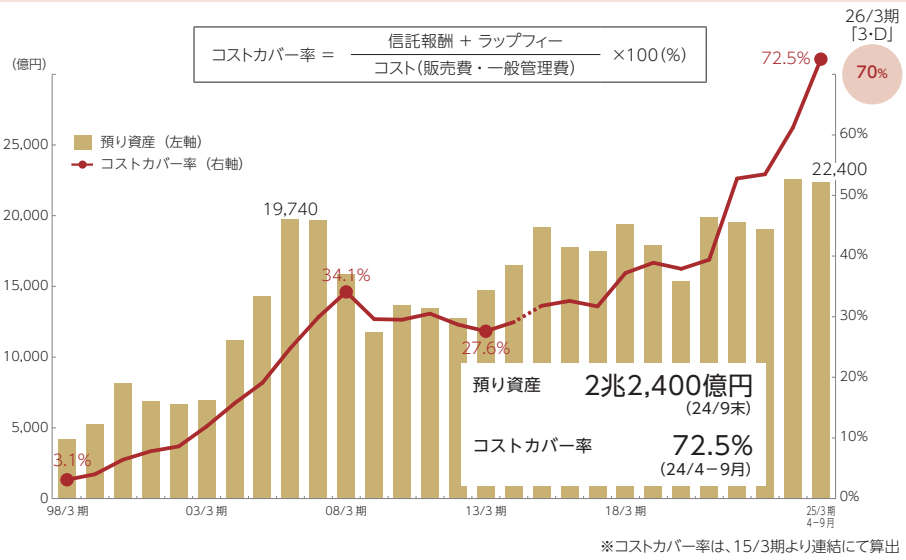
お客様本位の新サービスとして、本年9月、ドリコレで運用している資産を対象として、ご契約者様に相続が発生した場合、簡単な手続きで、換金することなく運用資産のまま資産を承継することができるサービス「ドリコレ・パス」を開始いたしました。

また、本年10月1日より、当社がお客様とお客様のご家族に寄り添い続けるサービスとして「いちよしトータルケア」を開始いたしました。相続対策、おひとり住まいのお客様の備え、介護や認知症の備え、お墓や葬儀の備え等、お客様の抱える様々な悩みを解決するお手伝いを目的とし、提携会社や提携専門家とともに、お客様やそのご家族に寄り添いサポートさせていただきます。

コストカバー率70%超を目指して

当社では、投資信託の信託報酬やラップフィーなどの安定収益の販売費・一般管理費に対する比率をコストカバー率と定義し、収支構造の安定化と、お客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換の進捗状況を示す重要な経営指標の一つと位置付けております。

当中間期は72.5%と、「3・D」の数値目標であります70%に到達し、マーケット環境に左右されにくい安定的な収益構造の構築に向けて、着実に、お客様本位の「ストック型ビジネスモデル」への転換が進んでおります。安定的に70%以上の水準を保ちつつ、更なる向上を目指して参ります。



会社概要		(2024年9月末現在)
会 社 名	いちよし証券株式会社(証券コード: 8624) Ichiyoshi Securities Co., Ltd.	
創 立	1950年8月18日	
本 社 所 在 地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館	
代 表 者	代表執行役社長 玉田 弘文	
電 話	03-4346-4500(代表)	
資 本 金	145億77百万円	
純 資 産	294億81百万円	
自己資本比率	55.7%	
自己資本規制比率	513.9% (単体)	
従 業 員 数	959名	
営 業 拠 点 数	52カ店	

株式事務のご案内

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日	
期 末 配 当 金 受領株主確定日	3月31日	
中 間 配 当 金 受領株主確定日	9月30日	
定 時 株 主 総 会	毎年6月	
株主名簿管理人 特 別 口 座 の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同 連 絡 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(通話料無料)	
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所プライム市場	
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ichiyoshi.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)	

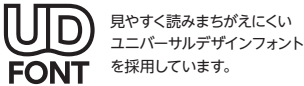


いちよし証券の
提供番組ご案内

「暦に集う」
毎週日曜よる8時54分～
BS朝日



語り／三田寛子 企画協力／CFA 制作／BS朝日 テレコムスタッフ



環境に配慮した植物油
インキを使用して印刷
しています。